

【最終】 E1A新東名高速道路 247.45KP のり面作業中事故

【発生日時】 令和3年12月13日（月曜日）（天候 晴） 15時20分頃

【発生場所】 新東名高速道路 ①247.45KP 盛土のり面

【件名】 2021年度 東名自動車道■■■■管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋（株）

【概要】

洗堀補修の作業において、鋼製のり枠を固定するための鉄ピン(D22)を大ハンマーで打ちこむ際に、誤って大ハンマーの柄と鉄ピンの間に右手人差し指を挟んだもの。
被災者は、メンテ名古屋 技能職職員

【被害状況】 人的被害：右手人差し指打撲（全治2週間程度）
物的被害：特になし

◆12月14日 8:30 緊急安全大会

【安全大会の議題】

- ・今回の事故の要因の分析・今後の対策について深堀
- ・再発防止について

【報道等】 なし

【被災状況】 状況写真添付

【原因】

- ・最後の1箇所の打ち込みであったため、気が緩んだ（油断した作業）
- ・単純な作業の繰り返しによる注意力の欠如

【その他】

- ・最後の1箇所であったため、気が緩んだ
- ・疲労感は特に無かった

【対策】

- ・最後まで気を緩めず作業にあたるよう心掛ける
- ・適宜休憩を取り、時間に余裕を持った作業を心掛ける
(ヒアリングにより疲労感は特になかったとの事でしたが、他作業に於いても心かける)
- ・安全意识レベルを継続するように常に他作業員とコミュニケーションを図る
- ・職長は各作業に目配り・気配りの徹底を図る

【まとめ】

・今回の事象は作業手順通り実施しており、よくある近道行為等で発生した事象ではなかった。しかし、怪我をした事は作業における集中力の欠如や単純作業による油断した気持ちが今回の事象に繋がっていると思われる。

本日の緊急安全大会を通し、今一度作業時と休憩時のメリハリをつけ、事故を絶対起こさないように、みんなで声掛けするよう周知を図りました。

【位置図】

新東名高速道路 ①247.45kp





作業状況



事故状況



症状